

挑戦

岩邑小学校5年生

初めての調理実習

5年生になって家庭科の授業が始まりました。最初は調理器具やガスコンロの使い方を学びました。実際にガスコンロを使ってみると点火したとたん手を離してしまったり、火加減の調節が難しかったり家で使用しているものと違うことで苦労している姿も見られました。何回か練習をするうちに少しずつガスコンロの扱いに慣れ、調理実習の準備ができました。

初めての調理実習では、卵をゆでましたゆでる時間によって見た目や食感に変化があることに気付くことができました。次の学習では、野菜を1日に350グラム摂取するとよいことを知り、小松菜のおひたしを作りました。自分たちで一生懸命に作ったおひたしを「おいしい！！」と嬉しそうに食べていました。道具の準備から調理の分担、後片付けまで班の仲間と協力しながら活動する姿が素敵でした。

宿泊研修では、班での活動が多くあります。今回の調理実習のように班の仲間に声をかけ、力を合わせて様々な活動に取り組む姿を見られるのが楽しみです。

